

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分
成分

混合物

化学名又は一般名	CAS
EDTA・4ナトリウム	64-02-8
メタ珪酸ナトリウム	6834-92-0
アルコールエトキシレート	68439-46-3
不活性混合物	

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分の悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに多量の水で洗浄すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状

多量の水又は牛乳を飲む。(酒類は絶対に飲ませない。) 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚: 刺激は穏やかであるが、長時間の接触で皮膚炎を誘発する可能性あり。
眼: かゆみの原因となる。長時間の付着で損傷を起こす可能性あり。

最も重要な兆候及び症状

情報なし

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

消火剤

通常の水

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

情報なし

消火を行う者の保護

情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および

情報なし

緊急措置

情報なし

環境に対する注意事項

少量の場合拭き取るか洗い流す。大量の場合は吸収材を散布するかポンプで吸い上げタンクに戻す。

回収・中和

封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

危険でなければ漏れを止める。
床が滑りやすくなるのでよく洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の保護具を着用する。

局所排気・全体換気

情報なし

安全取扱い注意事項

飲み込みを避けること。

眼に入れないこと。

皮膚と接触しないこと。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管 技術的対策

情報なし

混触危険物質

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管条件

使用時以外は容器のふたを締めて保管する。

容器包装材料

プラスチック

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

データなし

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

OSHA

PEL未確認

ACGIH

TVL未確認

設備対策

情報なし

保護具 呼吸器の保護具

特に必要はない。蒸発物濃度が上昇した場合、浄化機能付きのエアマスクを着用する。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

情報なし

衛生対策

情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的 形状

液体

状態

色

赤色

臭い

微臭

pH

12±0.5

沸点、初留点及び沸騰範囲

99°C

引火点

なし

自然発火温度

発火性なし

燃焼性(固体、ガス)	データなし
爆発範囲	爆発性なし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
比重(密度)	1.036g/cm ³ (20°C)
溶解度	水に100%溶解
オクタノール・水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし
10. 安定性及び反応性	
安定性	安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などを発生する。
11. 有害性情報	
急性毒 経口性	データなし
経皮吸入	LD50(ラット) 2000mg/kg 吸入(蒸気): データなし 吸入(粉じん): データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性: データなし 皮膚感受性: データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	発がん性なし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
12. 環境影響情報	
水生環境急性有害性	データなし
水生環境慢性有害性	データなし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規 海上規制情報制	情報なし
航空規制情報	情報なし
UN No.	情報なし
国内規 陸上規制情報制	情報なし
海上規制情報	情報なし
航空規制情報	情報なし
特別安全対策	特別な措置の必要はない
15. 適用法令	
消防法	情報なし
16. その他の情報	
参考文献	各データ毎に記載